



市民の声を市政に反映

杉森 ひろゆき

市議会議員 ニュース

杉森弘之後援会広報委員会発行

668号 2017年7月11日

〒300-1235 牛久市刈谷町 1-41-8

TEL・Fax : 870-0335

携帯 : 090-5587-7693

Mail : sugimori@max.hi-ho.ne.jp

教員の長時間労働 ①-E

部活動の負担軽減を

第2回定例会一般質問 V

杉森議員は6月7日、第2回定例会で、①小中学校の教員の長時間労働、②民俗資料館の開設、③牛久沼の観光開発、について一般質問した。今号では①—Eを掲載する。

授業に次ぐ時間消費

【杉森議員の質問】2006年の「教員勤務実態調査」の結果によれば、中学校の教員が「部活動指導に従事する時間」は、勤務日の場合は最も多くの時間が費やされている

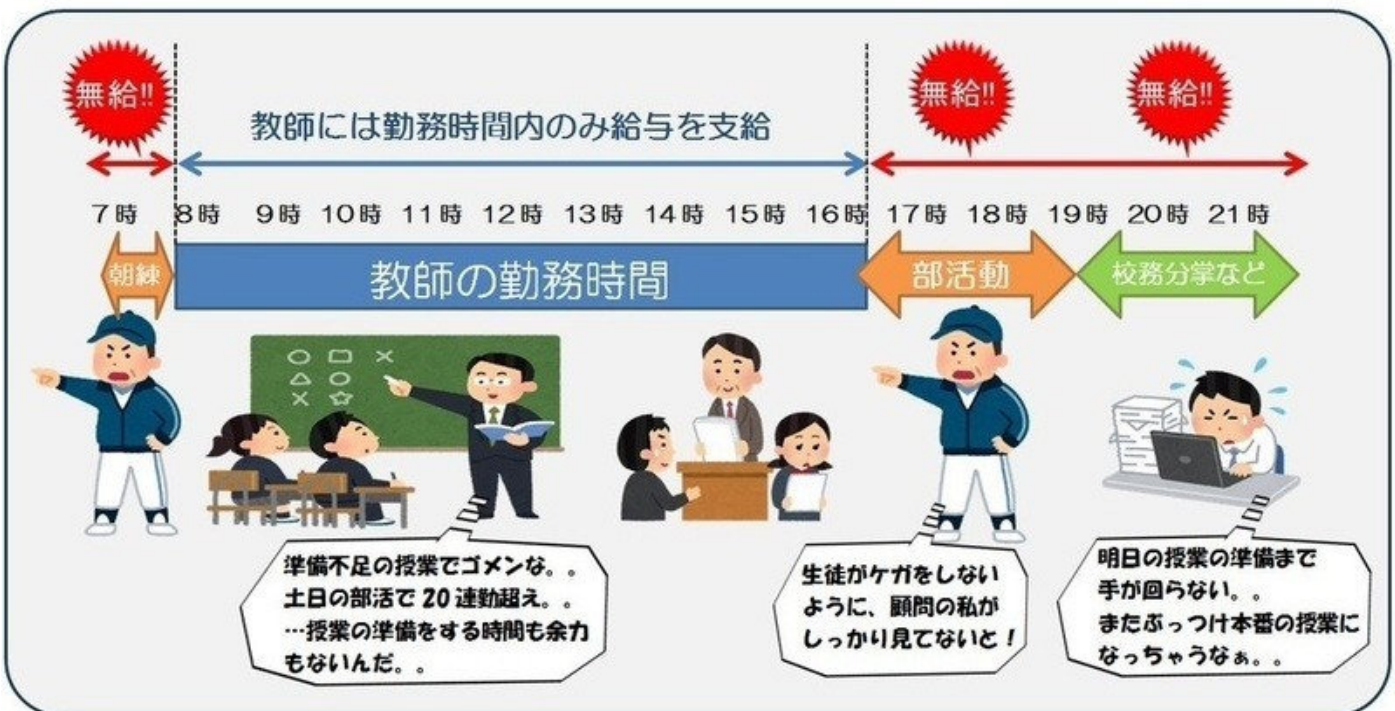
「授業」に次いで多く、また、週休日の場合は最も多くの時間が費やされており、勤務負担の増大の大きな要因となっている。特に週休日の振替が行われずに週休日に部活動指導に従事する場合は、さらにその勤務負担は大きくなる、と述べています。

自主避難者の住宅支援 市議会が復活求める決議採択

牛久市議会第2回定例会は、議員提出議案「原発事故避難者に対する住宅支援の復活を求める意見書の提出について」を全会一致で採択した。

杉森議員はこの問題を、3月の第1回定例会で一般質問し、今回は総務常任委員長として審査報告した。本年3月末で福島第一原発事故避難指示区域外からの避難者に対する無償住宅提供が打ち切られており、これを復活するよう求めるもの。

文科省は、まずは部活動指導について教員以外の専門的な指導者の活用を促進するとともに、部活動による時間外勤務が可能な限り生じることがないように、**校長が適切に管理・監督するよう指導**を行うことが必要である、と



述べています。民間企業やNPOから派遣された外部のコーチの活用などが提言されていますが、牛久市は部活動指導についてどのように対処しあるいは考えているのでしょうか。また、牛久市では、一番多い部活動で1週何日、1日何時間くらいになるのでしょうか。

複数顧問制・外部人材

【教育長の答弁】本市の中学校の1週間の部活動日数ですが、どの学校も、**月曜日は原則休み、土日どちらかは原則休み**としています。ただし、土日については、対外試合、大会等参加の場合にはこの限りではありません。また、定期テスト前は実施しないことにしています。平日の活動時間は、日没時刻をもとに下校時刻を設定しているため、季節によって異なります。**夏季は2時間程度**活動します。現在ですと6時40分くらいまで実施しています。冬季は15分程度で下校しています。土日は対外試合今大会前の練習を除けば、半日、3～4時間の活動が基本となっています。

教員の負担軽減のため、ほとんどの部活動は複数顧問制にしています。**市内5校で合計63の部活動**が設置されており、顧問63名に対し副顧問が52名います。副顧問は複数の部活動を兼務する場合があります。

また、**学校サポーターとして8名の方々**にご協力いただいています。

学校現場の先生方の声を聞きながら、外部人材の活用など負担軽減策を学校と共に考えて参りたいと思います。

OECD参加国中で最長

【杉森議員の質問】ネットやSNSを生徒たちが頻りに利用する中、「(生徒の)問題行動がSNSにもぐってしまって、例えば誰かの悪口を書いたとか、そういうのをひとつひとつ放課後に生徒の話を聞いて、事実だったら保護者に連絡して指導する。そういうことも増えてきています」とも指摘されています。また、OECD(経済協力開発機構)の調査では、日本の教員の1週間当たりの勤務時間はOECD参加国中で最長だが、授業に使った時間はOECD平均よりも短いと言います。抜本的



な改革のためには、**教員の増員、少人数クラス制**が必要とも考えられます。牛久市では児童生徒との関係を密にし指導を強めるため

に、どのように考えているのでしょうか

中2まで35人学級

【教育長の答弁】国の基準では小学校1年生と2年生で35人学級、それ以上は40人学級となっています。

茨城県では小学校3～6年生も**35人を超える学級が3学級以上になる学校には一人余計に担任教師を配置して4学級**にしています。**35人を超える学級が1～2学級の場合には、学級は増やさず非常勤講師**を配置して、チームティーチングの形態をとっています。

また、中学校1年生に対しても同様の措置がとられ、非常勤講師も配置されています。この事業が本年度から中学2年生まで拡充され、**現在は小学校1年生から中学校2年生までが、35人を基本とした少人数学級**となっています。茨城県では、**来年度この事業を中学校3年生まで拡充**する方向であるとのことです。

本市においてはこの事業により、国の基準より小学校で10名の学級担任、中学校で3名の学級担任が増員配置となっています。また、児童数が36名になっている学級には、非常勤講師も配置できることになっており、牛久小に5名、神谷小に4名の非常勤講師を配置しています。中学校にも一中、三中、下根中にこの事業の非常勤講師が配置されています。

しかし、いまだに採用すべき講師が見つからず、**配置のできない学校**もあります。

採用すべき講師が見つからず